

○議長（小林哲雄）

再開いたします。

午前 10 時 20 分

○議長（小林哲雄）

日程第 11 報告第 2 号 平成 26 年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についてを議題といたします。

報告書の説明を公社理事長に求めます。

理事長。

○副町長（小澤 均）

それでは、ご説明させていただきます。

報告第 2 号 平成 26 年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画について。

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定により、平成 26 年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画を別添のとおり提出する。

平成 26 年 3 月 4 日提出、開成町長、府川裕一。

1 ページをご覧くださいと思います。

平成 26 年度開成町土地開発公社事業計画は、次に定めるところによる。

平成 26 年 2 月 6 日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

2 ページと 3 ページをご覧ください。

平成 26 年度の事業計画としましては、具体的な土地の取得、売却の予定はございませんけれども、窓口予算として、その他事業 1,000 円をそれぞれ計上させていただいています。

4 ページをご覧ください。

平成 26 年度開成町土地開発公社予算及び資金計画。

総則。

第 1 条。平成 26 年度開成町土地開発公社予算及び資金計画は、次に定めるところによる。

収入支出予算。

第 2 条。収入支出予算の総額は、収入支出それぞれ 6,461 万 5,000 円と定める。2、収入支出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表 収入支出予算」による。

借入金。

第 3 条。借入金の目的、限度額、借入先、借入方法、借入利率及び償還方法については、「第 2 表 借入金」による。

資金計画。

第 4 条。資金計画は、「第 3 表 資金計画」による。

平成 26 年 2 月 6 日提出、開成町土地開発公社理事長、小澤均。

次に、5 ページをご覧ください。

第1表、収入支出予算。収入は、事業収入、土地売却収入4,962万5,000円。これは、平成19年度に公社から町に売却をしました松ノ木河原の土地に係る平成26年度分の売却収入でございます。借入金1,000円。繰越金、平成25年度からの繰越金として1,498万4,000円。事業外収入5,000円、これは利息収入でございます。収入合計は6,461万5,000円でございます。

支出としましては、事業費が土地取得費1,000円。一般管理費3,000円。借入金償還金4,530万6,000円、これは平成17年度に公社が購入をしました松ノ木河原の土地に係る平成26年度分の償還元金でございます。事業外支出119万1,000円、これは借入金償還金に係る支払利息でございます。そのほか、予備費1,811万4,000円を加えまして、支出合計は6,461万5,000円でございます。

6ページをご覧ください。

第2表、借入金。目的、公有地等取得管理資金、限度額5億円、借入先、借入方法、借入利率、償還方法は記載のとおりとなっております。

次に、7ページをご覧ください。

第3表、資金計画でございます。左側の受入資金、右側の支払資金の合計は、ともに6,461万5,000円となっております。内容の説明は、5ページの収入支出予算でご説明したものと重複をしておりますので、省略をさせていただきます。

8ページと9ページをご覧ください。

平成26年度収入支出予算説明書でございます。収入支出ともに前年度予算から245万6,000円の増額としております。こちらの内容も5ページの収入支出予算でご説明申し上げたものと重複をしておりますので、説明は省略をさせていただきます。

10ページをご覧ください。

平成25年度収入支出決算見込計算書でございます。表の上の記載をご覧ください。平成26年3月末の決算見込みにつきましては、収入見込額6,215万9,710円、支出見込額4,717万5,447円、差し引きは1,498万4,263円となる見込みとなっております。表の中の当年度決算額の欄をご覧ください。収入内訳としましては、町に売却しました松ノ木河原の土地に係る町からの土地売却収入、平成24年度からの繰越金、預金利息収入となっております。

次に、11ページをご覧ください。

支出内訳といたしましては、公社が購入しました松ノ木河原の土地に係る借入金償還金、事業外支出、借入金償還金に係る支払利息となっております。

12ページから17ページにつきましては、決算諸表でございます。12ページから14ページが平成25年度末、15ページから17ページは平成26年度末となっております。

初めに、平成25年度の決算見込みでございます。まず、13ページの予定損益計算書をご覧ください。

一番下の数値、当期純利益をご覧ください。松ノ木河原の土地に係る公社の償還金、償還に係る利息、町からの売却収入、預金利子収入を加味しまして、245万5,194円が平成25年度における純利益となる見込みとなっております。

前のページ、12ページの予定貸借対照表をご覧ください。

資産の部は、公社が保有をしています預金残額と松ノ木河原の土地に係る平成26年度以降の収益を計上してございます。負債の部は、平成26年度以降に松ノ木河原の土地に係る公社が償還する元金を計上してございます。資本の部は、基本財産、前年度からの繰越金、先ほど13ページでご説明申し上げた当期純利益をそれぞれ計上してございます。

次に、平成25年度における資金の流れを14ページのキャッシュ・フロー計算書でご説明いたします。

(1) 事業活動によるキャッシュ・フローでございます。松ノ木河原の土地に係る売却収入から償還元金を差し引いた収益、利息の受取額、償還に係る利息の支払額をそれぞれ計上し、事業活動によるキャッシュ・フローは245万5,194円となる見込みとなっております。

次に、(2) 投資活動によるキャッシュ・フローでございます。平成25年度は(1)の事業活動によって生じた収益と普通預金にある現金を加えまして300万円を定期預金に積み増しをしましたので、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス300万円となる見込みとなっております。

その結果、(4) 現金及び現金同等物増減額はマイナス54万4,806円となっております。これに(5) 現金及び現金同等物期首残高を足しまして、(6)の期末残高は96万9,469円となる見込みとなっております。

最後に、15ページから17ページが平成26年度の決算見込みになってございます。計上内容については平成25年度と同様となっておりますので、説明は省略をさせていただきます。松ノ木河原の土地に係る公社の償還と町からの売却収入の差益については、平成25年と同様に定期預金に今後、積み増しをしていく予定となっております。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

以上で、報告第2号 平成26年度開成町土地開発公社事業計画・予算及び資金計画についての報告を終了いたします。